

# 進捗報告書（実行団体）

Version 1.0

2021年9月30日

事業名:	日常生活の中にある「まちのほけんしつ」
資金分配団体:	(公財) 資本信託財団
実行団体名:	認定特定非営利活動法人マイママ・セラピー
実施時期:	2021年5月～2022年2月
事業対象地域:	滋賀県
事業対象者:	地域住民

## I. 事業概要

### 事業概要

毎月定期的な「まちのほけんしつ」を開催し、地域の人との出会いを増やし、保健・医療・福祉・子どもの発達・介護・仕事のこと・病気と仕事の両立支援・口腔衛生など相談対応ができる人材のスキルを活かし、交流できる場を提供する。また、出かけにくい人を対象にしたオンライン相談ができる環境の設定と、モニターによる健康上の提供をおこなう。衛生用品の配布を媒体に、健康管理と予防へのきっかけづくりをおこなう。人材育成の一環として、専門職講座を開催し受講した専門職から正しい情報の拡散をおこなう。

## II. 進捗報告の概要

### 総括

1. 地域に住む人たちを対象に、コロナが蔓延する社会の中で、行き場を失った住民の方の居場所づくりとして「まちのけんしつ」を設置。毎月6日（平均1日100人程度の方が来てくださる） 寄付活動もおこない衛生用品還元役に役立てる。
2. 公衆衛看護を展開できる人材の育成を行い社会資源として地域に還元できるようにする。（現在2回終了。後半から医師・助産師・保健師の講師から学ぶ）\* 専門職を対象にしてスキルアップ講座の開催
3. 衛生用品の配布をおこなう（赤ちゃん用紙おむつ・高齢者用紙おむつ・尿取りパット・生理用品・追加として災害の衛生用品の配布）
4. 助産師によるオンライン相談室開設（月7回 離乳食講座・発達講座・更年期など毎回テーマを変えて実施・県外からの参加が9月以降増えてきた。男性の参加もある）
5. 地域に向けて健康情報発信をマイママ house から動画でおこなう。
6. ちいさなこども食堂（8月24日に開催をした「こどものいばしょ」で行き場のない小学生がおり、みんなでお昼ご飯を食べたことをきっかけにあと2回程度実施予定）
7. 災害時の避難所運営支援（8月14日の豪雨災害時に避難所運営支援と衛生用品の配布）今後の「まちのほけんしつ」事業に同伴円をさせていくかを検討するきっかけとなる。

### Ⅲ.活動実績

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	進捗状況
1. 「まちのほけんしつ」を通して、健康づくりを商店街全体で考えることができてきた。 2. スキルアップに参加した専門職が各地で支援を提供できる環境を設定することができるようになってきた。 3. 「まちのほけんしつ」が、世代に関係なく安心して利用できる居場所として定着してきた。	1. 当初計画については順調にすすんでいる 2. 追加事業 ① こども食堂等については、他機関へ紹介と考えていたが、「まちのほけんしつ」で小さな形で開催できる可能性が出てきた。年度内にあと2回程度開催予定。 ② 各地で起こる災害について母子防災の拠点としてできることについて検討をする。

活動	進捗状況	概要
1. 「まちのほけんしつ」としてマイママ house 開館 2. 専門職スキルアップ 3. 地域への健康情報公開 4. 衛生用品の配布 5. ちいさな子ども食堂 6. 母子防災拠点づくり検討	当初計画は順調に進む上半期の活動から、新たに増やした「小さな子ども食堂」と「防災」について新たに「まちのほけんしつ」活動について追加した。	* 3～6日/月 ご縁市として保健室開館 概ね、月に200人～250人ほど利用 * スキルアップ2回終了（後半8回予定） * 健康情報（25本教材確保）保健室で公開中 * 衛生用品配布（開館日・助産師訪問時・大津市社協での一人親交流会・ディサービス利用者へ） * 8月24・25日「こどもいばしょ」開催 商店街全体で子どもイベント開催 約300人参加 この日に「小さな子ども食堂」を開催 * 増加する災害に小さな命を守る方法を考えるきっかけを提供する

### Ⅳ. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述
1. 活動展開はかなり自由度を増して広範囲に可能であることが分かってきた。あとは、マイママ house 存続（家賃確保）が鍵となる。 2. すべての世代の居場所としてとして、マイママ house を存続する。 3. 最初の相談拠点であり、そこから次の専門家へのつなぎ役割を担う。

## V. インプット

		2020 年度	2021 年度	合計	執行金額	執行率
事業費	直接事業費	¥0	¥11100000	¥11100000	¥6160392	55%
	管理的経費	¥0	¥900000	¥9000000	¥397099	44%
合計		¥0	¥12000000	¥12000000	¥6557491	54%
補足説明		特にありません。				

## VI. 事業上の課題

### 事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応

コロナ蔓延後、これまでとは異なり「大人の居場所」を求める声が増えてきた。会話することも、笑うこともできない毎日を家の中で過ごしているのは母子だけではなかった。幸いなことに、大人は買い物を必要とすることで、短い時間でも商店街で最小限の会話をすることができたが、多くの人がストレスを抱えていることは理解できた。閉鎖された空間ではないことが商店街の強みとなって毎日多くの人が行き来する環境は維持されていた。マイママ house が開館する日は高齢者が休憩できる場所として定着しつつある。

特に大きなリスクはなかったが、衛生用品配布において、偽名で来る人が一人あったが、2日目に対応し未然に防ぐことができた。あまりこのような人を経験したことがないので戸惑ったが、スタッフが毎回多く視線がそちらへ集まることもあり、その後は来られていない。

夏休みに開催した「こどものいばしょ」では、「なんで子どもだけ？」の声がたくさんあがってきた。マイママ house では、「こどものいばしょ」「おとなのいばしょ」「みんなのいばしょ」と看板を追加をして誰でも入れるように配慮した。

## VII. その他

### 自由記述

利用される方の言葉から

「予約制になると敷居が高くなり利用しにくい」とのことで、助産師相談会も自由に参加できるよう変更した。マイママ house は一度来てみると、敷居の低い安心できる居場所になってきたように感じる。

## VIII. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載 (TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等)	あり	* 読売新聞取材あり * オンライン講座では SNS を利用した集客
広報制作物等	なし	

報告書等	なし	
------	----	--

IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	
2. 内部通報制度は整備されていますか。	はい	